

全建発第15～143号
平成15年7月15日

行政機関の長 殿
土木等部門の長 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会長 鈴木道雄



第478回建設技術講習会〔コスト縮減と工事積算（土木・建築）〕開催のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員約9万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力向上が求められております。

このたびの第478回建設技術講習会では、「コスト縮減と工事積算（土木・建築）」をテーマに、公共工事におけるコスト縮減等に係わる総合的な施策（コストの観点から公共事業のすべてのプロセスを例外なく見直すコスト構造改革など）の最新の情報を得る。また、最近の多様な入札契約方式に対応した公共土木工事、建築工事における積算の動向、考え方を把握するとともに、基準等に関する新たな知識・情報を修得することを目的としております。本講習は公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 敬 具



全建発第14～249号
平成15年1月6日

社団法人 全日本建設技術協会

研修委員長 北橋 建治

(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成15年度の講習会参加について（お願い）

本会の建設技術講習会及び実地研修会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただいております。厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められます。例えば、平成13年4月から適用された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」においても、国、特殊法人等及び地方公共団体は、「職員に対し、公共工事の入札及び契約が適正に行われるよう、関係法令及び施工技術に関する知識を習得させるための教育及び研修その他必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされており、「職員研修」の果たすべき役割は従来にも増して一層重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成15年度の建設技術講習会・実地研修会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

地方協会長殿



社団法人 全日本建設技術協会
会長 鈴木道雄

第478回建設技術講習会〔コスト縮減と工事積算(土木・建築)〕開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成15年9月17日(水)～9月19日(金)、福井市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では「公共工事におけるコスト縮減等に係わる総合的な施策(コストの観点から公共事業のすべてのプロセスを例外なく見直すコスト構造改革など)最新の情報を得る。また、最近の多様な入札契約方式に対応した公共土木工事、建築工事における積算の動向、考え方を把握するとともに、基準等に関する新たな知識・情報を習得する」ことを目的としています。

なお、本講習会は国土交通省の後援を受けております。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴講料：正会員・特別会員・賛助会員...土木 9,800円〔うち昼食代1,600円(2日分)〕
建築 8,500円〔 〃 〕
非会員.....土木 15,000円〔 〃 〕
建築 13,700円〔 〃 〕

現場研修料：..... 6,300円〔うち昼食代1,200円〕
(現場研修だけの参加はお断りしております)

申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金を添えて期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。

申込金が同封されていなかったり、銀行振込の(写)が添付されていない場合は受理できません。

また、講習会当日、会場での追加申込は原則として受付いたしません。

申込書送付先：社団法人 全日本建設技術協会 事業課 ☎03(3585)4546
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ランディック藤井ビル7F

振込銀行口座：東京三菱銀行赤坂見附支店 普通預金口座 0311142

口座名義：社団法人 全日本建設技術協会

お振込の際は、振込名義の前に、開催回数の「478」をつけ加えて下さい。

申込締切日：平成15年8月20日(水)必着(締切日以降に到着したものは受理しませんので、お申込みが締切日直前となる場合は、必ずご連絡下さい。)

取り消し・返金について

申込期限後の取り消しについては、返金できません。ただし、公務上緊急の都合による場合に限り、下記のように処理いたします。なお、返金及び欠席者のテキストは講習会終了後に、所属協会宛にお送りいたします。

【返金方法】

平成15年9月5日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成15年9月12日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金いたしません

テキスト・聴講券及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は両日、講義終了後お渡しします。なお、受講される場合、会場内では聴講に相応しい服装でご参加願います。また、事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に現場研修時は一切お断りします。

講習会の予定(日程、テーマ等)については、全建ホームページもご覧下さい。<http://www.zenken.com/>

第478回建設技術講習会〔コスト縮減と工事積算（土木・建築）〕日程

公共工事におけるコスト縮減等に係わる総合的な施策（コストの観点から公共事業のすべてのプロセスを例外なく見直すコスト構造改革など）最新の情報を得る。また、最近の多様な入札契約方式に対応した公共土木工事、建築工事における積算の動向、考え方を把握するとともに、基準等に関する新たな知識・情報を習得する

聴講.....平成15年9月17日（水）、18日（木）
 現場研修.....平成15年9月19日（金）
 会場.....【合同・土木】福井市文化会館（ホール）
 【建築】福井市文化会館（大会議室）
 〒910-0019 福井市春山2-7-1 TEL 0776-20-5010

1日目 9月17日（水）【合同】ホール			
10:00	あいさつ	福井県知事	西川 一 誠
10:20	〃	福井市長	酒井 哲 夫
10:20 11:20	公共工事のコスト縮減	国土交通省大臣官房技術調査課 建設コスト管理企画室 室長	松本 直 也
11:30 12:00	【地域における技術苦労話】 国見岳風力発電所建設について	福井県企業局電気課 主任	皆川 信 行
13:00 14:00	公共工事と会計検査	元会計検査院事務総長官房 技術参事官	安藝 忠 夫
14:10 15:10	建設資材・労務の積算について	国土交通省総合政策局建設振興課 労働資材対策室 課長補佐	田畑 正 敏
15:20 16:20	【特別講演】 地域の地盤災害事例と対処	福井大学工学部建築建設工学科 教授 工学博士（環境防災工学）	荒井 克 彦
【現場研修事業の紹介】			
16:20 16:40	福井県立図書館・文書館建設事業	福井県土木部営繕課主任	野尻 秀 紀
16:40 17:00	街路事業「みずとり大橋（仮称）」	福井県嶺南振興局小浜土木事務所 地域整備課主任	一瀬 嘉 和
2日目 9月18日（木）【土木】ホール			
9:50 10:50	公共工事積算体系及び適正化法について	国土交通省大臣官房技術調査課 工事監視官	元 永 秀
11:00 12:00	機械経費と施工歩掛	国土交通省総合政策局建設施工企画課 課長補佐	稲垣 孝
13:00 14:00	港湾・海岸工事の積算	国土交通省港湾局建設課建設企画室 建設調査第二係長	由木 誠
14:10 15:10	下水道工事コスト縮減と設計積算	国土交通省都市・地域整備局 下水道部下水道事業課 基準係長	的場 孝 文
15:10	閉会のあいさつ	福井県建設技術協会長	小山 和 男
地域の独自調査			
2日目 9月18日（木）【建築】大会議室			
9:50 10:50	公共住宅整備に求められる性能と コストについて	国土交通省住宅局住宅総合整備課 高齢者住宅係長	北 奥 智 規
11:00 12:00	公的住宅の建築積算について	都市基盤整備公団技術監理部 参事	澤井 布 兆
13:00 14:00	公共建築工事積算の最近の動向について	国土交通省大臣官房官庁営繕部 営繕計画課 課長補佐	月居 章
14:10 15:10	公共建築工事積算のIT化の取り組み について	国土交通省大臣官房官庁営繕部 営繕計画課 営繕設計官	松井 俊 蔵
15:10	閉会のあいさつ	福井市建設技術協会長	伊藤 隆 允
地域の独自調査			
【現場研修】 3日目 9月19日（金）			
JR福井駅東口（8:10）出発 → 福井県立図書館・文書館建設事業（下車説明）			
→ 昼食（小浜市内） → 若狭路博2003（下車見学）			
→ 都市計画道路3・4・2多賀竹原松ヶ崎線 みずとり大橋（仮称）（下車見学）			
→ JR敦賀駅（15:45） → JR米原駅（16:45）着後解散			

上記講習会日程は都合により講師、講義内容、現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第478回建設技術講習会の主な現場研修立ち寄り先

- 1) 福井県立図書館・福井県文書館建設事業 福井市下馬町
県民の生涯学習の拠点施設として、また、歴史的に貴重な公文書・古文書の収集保存利用普及などを行う施設として整備された。
図書館は開架能力30万冊とし、豊富な図書資料を直接、自由に手に取ることができる。開架エリアは段差のないワンフロアとしており、平面移動だけで利用出来るようになっている。また、書架間通路幅を1.6mとし車椅子でのすれ違いができるよう配慮されている。各市町村への円滑な資料提供を進めるため、資料貸出しの搬送体制を整えている。書庫収容能力160万冊で新たな図書館情報システムにより、インターネットを通して所蔵資料の検索、予約が出来る。

- 2) みずとり大橋(仮称)建設事業 福井県小浜市上竹原
橋長345mの単純下路鋼ニールセン橋である。
ニールセン橋はアーチ橋の一種であり、斜めに張ったケーブルが橋の強度を高め、たわみを小さく出来る。また鋼管矢板基礎を筒状に組み合わせた形式にしたため水中での施工がやすく、大きな荷重に耐えることが出来る。
この事業は、小浜市の市街地中心部と市街地北部を結ぶ都市計画道路多賀竹原松ヶ崎線のうち、一級河川北川、江古川、および二級河川多田川を渡る橋梁を新たに架設するもので、交通混雑の解消と良好な市街地の形成を図るものである。
平成元年に着手し、現在竹原橋の拡幅工事が完成している。
橋のデザインについては学識経験者、地元代表者等で構成する「みずとり大橋景観検討会」でデザインやカラーリングを検討した。

- 3) 若狭路博2003(メイン会場) 福井県小浜市川崎地区
福井県嶺南地域(=若狭路)は、古くから大陸と都を結ぶ玄関口として、人・モノ・情報が行き交う交流の拠点として栄えてきた。さらに海や山の恵みを活かして、個性溢れる産業や文化を築き、「食」「祭」「海」「エネルギー」に代表される魅力的な地域資源を育ててきた。ここ嶺南地域では現在交通基盤の整備が急ピッチで進められている。平成15年春には近畿自動車道敦賀線の舞鶴東・小浜西間の供用開始およびJR小浜線の電化開業が実現し、嶺南地域の交流人口は飛躍的に増大することが期待されている。
そこでこの機会をとらえ嶺南地域の更なる発展を期するため、県、市町村、民間が一体となって「若狭路博2003」を開催することになった。このイベントでは、嶺南地域の地域資源である「食」「祭」「海」「エネルギー」を最大限に活用するとともに地域が一体となって来場者への「もてなし」を通じ、若狭路の魅力をアピールするものである。このイベントを通じ、海や祭りに代表される嶺南地域の豊かな自然、風土などの地域資源の魅力を全国へ情報発信し、嶺南地域、ひいては福井県のイメージアップを図り、自然環境や歴史、文化、産業などの地域資源を最大限に活かし、地域産業の活性化を図る。嶺南8市町村の広域的な連携と嶺南地域が一体となる住民意識の高揚を図る。

第478回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

- 宿泊料金：宿泊希望者には福井市内のホテルを別記のとおり斡旋いたします。
 斡旋する宿舍のロケーション等を確認のうえ申し込んで下さい。
- 宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
- 宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。
- 送金先：(株)日本旅行 東京法人営業部 ☎03(3593)0321 FAX 03(3593)0688
 銀行口座 三井住友銀行日比谷通支店 普通預金口座 2994790
 〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1（ニュー新橋ビル9F）
 お振込の際は、振込名義の前に「478」とつけ加えて下さい。

取り消し・返金について

平成15年9月5日(金)までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
〃 9月12日(金)までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

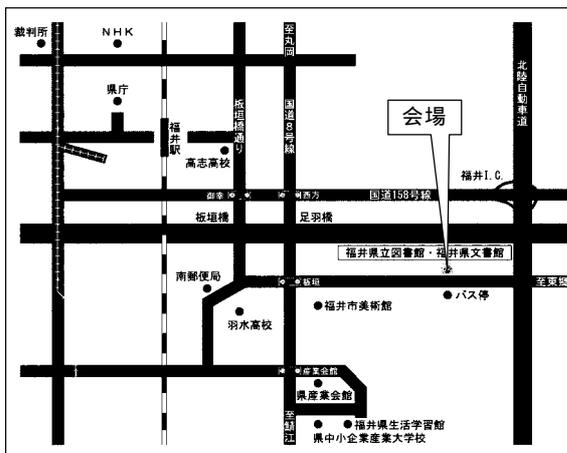
・申込後の宿泊予約の取り消し、変更については上記旅行会社の「全建担当デスク」まで直接ご連絡下さい。

平成15年9月16日(火)・17日(水)・18日(木)（1泊朝食付、サービス料込・税金込）

宿舍名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
福井ワシントンホテル	福井市大手3-12-20 TEL：0776-27-8811	シングル	100名	¥9,000
ホテルニューユアーズ	福井市大手2-4-18 TEL：0776-24-3200		50名	¥8,700
アパホテル福井片町	福井市順化1-16-7 TEL：0776-28-7111		100名	¥8,700
ホテルリパージュアケボノ	福井市中央3-10-12 TEL：0776-22-1000		30名	¥8,200
シティーホテルフクイ	福井市日之出1-1-17 TEL：0776-23-5300		70名	¥6,900
ターミナルホテルフクイ	福井市日之出1-18-1 TEL：0776-24-8800		30名	¥6,700
宿泊斡旋人数合計				380名

* 宿舍・部屋割りが決定次第ご通知いたします。なお、朝食が不要な場合は、お申し込み受付後、お送りする「宿泊案内」をご覧ください。

会場・宿舍案内図



会場までの交通案内

JR 福井駅から会場まで
 バス番号13 藤島・乾徳線（福商前先行り）7番線乗り場「西公園前」下車 徒歩1分 200円
 バス番号21 幾久・新田塚線（福井大学先行り）9番線乗り場「西公園前」下車 徒歩1分 200円
 その他にも、7・8・9番線から出るバスについては、ほとんどが「西公園前」を経由しますので、ご確認の上、乗車して下さい。



2会場となりますので、聴講者別の欄はお間違えのないよう記入願います。

平成15年 月 日

社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____ 印
(特別・賛助会員名)

第478回建設技術講習会〔コスト縮減と工事積算(土木・建築)〕申込書

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		非 会 員 士 建	昼 食 不 要 (×印)	現 場 研 修	宿泊予約日		
(フリガナ) 氏名 (参加者が女性の場合は番号を○囲みして下さい)	年 齢		土木	建築				予約日に 印を記入して下さい		
			正 会 員	正 会 員				9 / 16	9 / 17	9 / 18
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
聴講料【土木】正会員・特別会員・賛助会員		名 × 9,800円 =	円			↑ 現場研修の昼食は不要の申し出はできません	宿泊予約金 泊 × 4,000円			
" (昼食不要)		名 × 8,200円 =	円							
【建築】正会員・特別会員・賛助会員		名 × 8,500円 =	円							
" (昼食不要)		名 × 6,900円 =	円							
非会員【土木】		名 × 15,000円 =	円							
" (昼食不要)		名 × 13,400円 =	円							
【建築】		名 × 13,700円 =	円							
" (昼食不要)		名 × 12,100円 =	円							
現場研修料		名 × 6,300円 =	円							
計			円				計	円		

非会員の申込は土木士、建築は建と区別して記入願います

〔申込にあたっての注意事項〕 全建に振込 日本旅行に振込
 宿泊予約の取り消し、変更については別記旅行会社に直接ご連絡願います。
 申込金を銀行送金される場合、銀行振込の(写)を申込書に必ず添付して下さい。
 申込の締め切り日は平成15年8月20日(水)です。
 幹旋します宿舎は1泊朝食付きです。
 特別会員・賛助会員の方は正会員(聴講者別欄)の枠内に 印を記入して下さい。
 非会員の申込は土木 = 土、建築 = 建と区別できるよう記入して下さい。

〔昼食について〕
 昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。
 当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。
 現場研修の昼食について：
 現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。